

令和5年度 ふくたこども園 自己評価 (自己評価シートにて 正規職員10名実施)

保育内容

【 a-できている b-できているが、十分ではない c-できていない 】

全体的な計画		a	b	c	全体	課題対応
1	保育所の理念、方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じた全体的な計画を編成し、計画に基づき実践している。	4	6	0	b	保育理念の再確認と保育計画作成への時間を十分にとり、計画の重要性を理解し、情報共有を徹底し実践する。
環境を通して行う保育、養護と教育の一体化						
2	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	8	2	0	a	新しい環境への理解と対応を速やかに行い、こどもの目線の目的を明確にした保育環境の充実に努める。
3	ひとり一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	6	4	0	a	専門的根拠に基づく技術の向上を目指し、各保育者が自身の保育を変える意識をもって最善の保育に努める。
4	子どもが基本的な生活習慣を身に着けることのできる環境の整備、援助を行っている。	8	2	0	a	一人ひとりの成長発達に応じた支援の中で、主体性が育まれる環境整備に努める。
5	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	5	5	0	a b	主体性への意識不足は未だ園全体の課題であり、変わる意識のもと、具体的実践方法の習得に努める。
6	0・1・2歳児の各保育において、養護と教育が一体的に展開されるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	4	4	0	a b	それぞれの成長発達や、生活リズムに合わせた丁寧な保育の実践と、そのために必要な環境整備に努める。
7	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	4	6	0	b	園内研修を通して、児童への配慮や支援だけでなく、保護者との対話やケアへの意識も高め、実践につなげる。
8	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	5	0	a b	合同の時間帯も丁寧な保育につながるよう、人員配置と保育環境の充実にを図り、状況に応じた対応を行う。
健康管理						
9	子どもの健康管理を適切に行っている。	8	2	0	a	各世帯理解のもと、家庭との情報共有や連携をとり、園全体として感染対策や、健康及び衛生管理に努める。
10	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	6	4	0	a	プライバシーに配慮しつつ家庭との連携を取り、必要に応じて専門機関等への接続に努める。
11	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	9	1	0	a	専門機関の指示に基づき、全職員による情報共有を徹底し、アレルギー食材の完全除去・解除等を行う。
食事						
12	食事を楽しむことができるよう工夫している。	9	1	0	a	食育の実践方法を園全体として明確化し、より一人ひとりに適した食事への配慮と意識を高める。
13	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	9	0	0	a	調理及び食事環境の整備・充実に伴い、新メニューの作成、より良い提供方法の構築を目指す。

子育て支援

家庭と緊密な関係		a	b	c	全体	課題対応
14	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	7	3	0	a	園全体での情報共有を正確に行い、家庭との連携を深める中で、適切な支援に繋げていく。
保護者支援						
15	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	5	5	0	a b	プライバシー保護にとどまらず、専門性や経験を活かし、それぞれの状況に応じた適切な支援に努める。
16	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	8	2	0	a	正確な情報共有を行い早期発見・予防等に努め、必要に応じて専門機関と連携を取る。

保育の質の向上

保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		a	b	c	全体	課題対応
17	主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	3	7	0	b	振り返りは行っているが、改善や質の向上につながっていないため、さらに全体で時間を設け改善に取り組む。

◎まとめ 今年度も保育の実践において、こどもの主体性への意識と個別対応の部分にて、より学びを深める必要があった。また、主体的保育の振り返りが、保育の質の向上へ繋がるよう、一人ひとりの具体的な改善への取組みの明確化を、再度園全体の課題として自身が変わる意識のもと、その根本となる理念・目標の確認と共通理解を十分に行いたい。また、地域に根差した子育て支援の拠点として、今後の急速な人口減少・少子化のなかで求められる地域との関わりを考え、様々な場面での地域の居場所づくりを目指すなかで、多様な外部との連携を強化し、地域と共に一体的な子どもの育ちへの支援を図るべく、新園舎の新たな環境を十分に活かし、地域の活気の一部になれるよう努めていく。